

附中だより

令和元年12月17日発行

文責 附属中学校 岡林健児



キャリア教育講演会

11月28日(木)、キャリア教育講演会を実施しました。今年度は、本校の卒業生であり、現在、北里大学医学部脳神経外科学 主任教授として活躍されている隈部俊宏先生をお招きしました。



——生徒の感想より——

- 隈部先生の「出会いは必然」という言葉に、ハッとしました。人や出来事は、その人の行いによって、自然と自分の周りを囲んでいくものだと改めて感じました。
- 一番心に残った言葉は「座学だけが勉強ではない。日々のことも勉強」です。僕は勉強だけが全てだと思っていました。先生の言葉を聴き、日々のいろいろなことも全て勉強なんだということを感じました。
- 将来のことを考えるのにとっても参考になりました。先生が医療の世界に入ったきっかけは、良い先生に出会い、「その先生に教えていただきたい」というシンプルな思いから生まれたというエピソードには、感激しました。
- 「毎日の1つ1つの行動が将来に役立つかもしれない」という言葉に心を打たれました。日々の清掃や人とのコミュニケーションなどが、私の未来をつくる“道”につながると思うと、1つ1つの行動を見直して、自分がやっている活動の意味は何かを考えて行動していきたいという新たな気持ちが生まれました。

——保護者の感想より——

- 中学生という多感で難しい時期、友人、その時に関わった人々との出会いの大切さ、脳、スマホ…先生の内容は、子どもとの関わりにも、とても勉強になりました。
- 義務教育の位置づけ、「おかれた場所」を見つけるまでの道程、勉強だけでなく一生懸命に取り組むことの大切さ、子どもたちに響いてほしい金言にあふれていました。
- 子どもたちにとって、自分達の先輩が、こんなにも活躍していらっしゃることを知ることができたのは、自分の将来もその可能性を秘めていると実感できる大変良い機会だったと思います。
- 附属中の先輩に脳外科医の第一線で活躍されている方がいるのは、中学生にとって刺激になると思います。
- 附属中の卒業生で、地元出身の方が、これほど活躍されているのを伺い、大変誇らしく思いました。子ども時代のお話、友人の大切さ、スマホの使い方への進言など、親として共感できました。

元プロ選手とのスポーツ教室

本校の元保護者が代表を務める「特定非営利活動法人オレンジハートリボン協会」主催によるスポーツ教室が、



11月17日(日)、12月1日(日)の2日間、本校グラウンドを会場として実施されました。11月17日は、岡崎郁さん(元読売ジャイアンツ)と藤田宗一さん(元千葉ロッテマリーンズ、2006年WBC優勝メンバー 他)による野球教室、12月1日は、小林慎二さん(元横浜フリューゲルス、元横浜FMヘッドコーチ他)、前田治さん(元全日空クラブ、1990年イタリアW杯日本代表 他)によるサッカー教室でした。このスポーツ教室は地域の中学校等にも参加を呼びかけ、野球教室には北中と北東中、サッカー教室には北東中と青桐スポーツ少年団(附属小)が参加しました。いずれのスポーツ技術はもとより、スポーツ選手としての心の持ち方を教えていただきました。

「文豪ストレイドッグス」が図書室に

11月26日から12月10日まで「移動文学館」として県立文学館より借用した「文豪ストレイドッグス」セットが、図書室に展示されています。「文豪ストレイドッグス」とは、現代横浜を舞台に、中島敦、太宰治、芥川龍之介といった実在の文豪がモデルのキャラクターたちが異能力を用いて活躍するアクションバトル漫画です。この漫画が文豪と呼ばれる人たちの作品会になることを期待したいと思います。



図書室前に掲示されている登場人物関連図 ↑